



クラブ 会報

CLUB BULLETIN
(WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB
D-253

創立 S 34.6.9
承認 S 34.6.27

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30 ~ 13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 (2) 7711

会長 嶺岸光吉
幹事 佐藤村徳繁
会報委員長 小西海藤 西佐藤 一丹

No., 1074 1980. 9. 16 (火) (晴) No., 12

ビシター紹介

菅原松雄君 建築設計 阿宗健一郎君 配管工事 鶴岡西R.C
ロータリーアクト会員 渡会一雄君、池田幸子さん

会長報告

嶺岸光吉君

◎故石原惇君の葬儀が9月10日午後1時より荘内神社参集殿に於いて執り行なわれました。私がクラブを代表して葬儀に参列してまいりました。石原惇君は神職にあって、亡くなられますと神にたてまつられるそうです。位牌も故石原惇之命と書かれておりました。葬儀は神式によって執り行なわれました。

私も、神式の葬儀は初めてです。笛や琴のかなでる中で、而も厳粛の中に執

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために

り行なわれました。葬儀の後は仏教であれば七日法要になるわけですが、神式では10日祭というそうです。10日毎に50祭までが喪に服し、50日祭が過ぎると忌明けとなり。仏教なら49日に当たるわけです。50日祭が過ぎますと、音をたてて拍手を打ち拝礼が出来るそうです。石原君も多勢の会葬者に見送られてさぞかし昇天された事と思います。

- ◎ 9月14日～20日までの期間が青少年活動週間になっております。この度青少年活動委員会では、この機会に地域社会の青少年の能力を引き出すため、手をさしのべ、今日田川地区中学校・高等学校の英語弁論大会が午前9時から鶴岡工業高校を会場として開催されております。後程、委員長の菅原辰吉君より青少年活動週間にちなんでお話しをお願いしてあります。
- ◎ 9月14日、15日の2日間にわたってローターアクト年次大会が、会津若松に於いて開催されました。クラブから委員長の阿蘇君が出席致しました。大変ご苦勞様でした。後程報告をお願いしてございます。
- ◎ 9月13日にクラブ会員の親睦ゴルフ大会が開催されました。後程親睦委員長より成績発表願います。

幹 事 報 告

佐 藤 衛 君

1. 会報到着
鶴岡西R.C、酒田R.C
2. 立川R.C例会場所変更のご案内
18日の例会は楯山公園社務所に変更
3. 温海R.CよりI.G.Fの礼状
4. 「ロータリーの友」事務所より例年のカレンダーと卓上日記のご案内が参って居ります。価額は500円と1,000です。希望者は事務局迄
5. お知らせ
9月27日米沢での地区年次大会参加者は、例会終了後この場所に残って下さい。
6. 9月23日の4週の例会は祭日のため休会

委 員 会 報 告

- ◎第7回ローターアクト年次大会に参加して

ローターアクト委員長 阿蘇 司朗 君

R.I第253地区、第7回ローターアクトクラブ年次大会が、9月14日、15日の両日、ホストクラブ会津若松南ローターアクトクラブ、スポンサークラブ会

津若松南ロータリークラブによって会津若松の地で行われ、私と、ローターアクトから5名参加して、無事昨夜8時30分鶴岡に6時間かかって着きました。後程、ローターアクトの方からも、そのお礼と一部分科会の内容につきましてお話しがあることと思います。

参加メンバーは、ローターアクト地区内が129名、地区外が58名で合計187名に、ロータリアンが91名で総合計278名の人数でした。遠く第270地区から13名のアクターの参加には驚きと感動をうけました。

式典は、型通りに進められ、市長、浜田ガバナーなどの来賓の祝辞のあと、分科会が3つに別れて行われました。そのテーマは「遊び」、「方言」、「フィルム・フォーラム」に1時間30分出させてもらいました。「フィルム・フォーラム」に最初出たわけですが、これには私自身大変な驚きと、ロータリーとローターアクトをよく知らない為の疑問かとも思います……。といいますのは、分科会の部屋をさがすため少し遅れてしまって教えられた部屋に入りました。その部屋では、ポルノ映画ではないかと思われる映画をしていましたので一瞬、部屋を間違ったのかと思ひ外に出ました。しかし入口には、「フィルム・フォーラム」と書いてありましたので、少しは納得しましたが、驚きました。10分ほど上映の後、これについてのデスクッションということになり、はじめて「フィルム・フォーラム」の意味が判りました。明かりがつき、お互いに少しバツが悪い顔をしていましたが、この映画から「非行」についての討論でした。次の分科会の「遊び」というところでも気がついたのですが、ロータリアンが誰も参加していないという不思議な現象でした。アドバイザーとまではゆかずとも、討論を聞き、見守って行くということぐらいは必要なのではないかと思います。これも私の無知と内容を理解していない一年生ロータリアンの為かとも思いましたが、そんなことから一人の私がアドバイザーになってしまい困ってしまいましたが、鶴岡ロータリーここにありということで問題点を提示、提案して、討論の進行につとめて参りました。結論は出なかったのですが、私も20代のすばらしい意見が聞かれ有意義に過ごさせていただきました。あと2つの分科会につきましては2人のローターアクトの方から説明していただきます。

6時から交流会がありましたが、ロータリアンも少く、私も7時から委員長会議があるというので、アルコールも飲めず、委員長会議に出ました。ここでは、作田R.I第253地区の青少年委員長の司会により9時まで行われ、ローターアクトの意識向上の方法、問題点、質疑応答後、指導者講習要項のところまで以前耳にした、R.Y.L.A研修会のことが出、そのメンバーにJ.C.O.Bもおられ、J.C時代指導の開発問題に頭と首は勿論、身体全体を投入して来た私にとって新たな意慾をかりたてられ、久しぶりに自己開発の勉強をさせてい

いただきました。最後にこの会の感想としまして少し述させていただきますが、式典において登録参加メンバーの紹介の事です。毎年そうであるからかと思いますが、遠いところのメンバーから紹介するのが礼儀ではなかろうかと思えます。といいますのは、はじめの方が聞く方にとっても特に聞き耳をたてますし、遠いところから参加してもらったという労をねぎらう心を表すためにも最初にすべきと思いました。又ロータリアンは口先きだけで指導とかアドバイスらしきことを大勢の前でいうことだけで、ローターアクトの心を知る為には、一緒に行動してそこから自分の経験と知識をもってリーダーシップをとるべきものではなかろうかとも思いました。いずれにしましても、J.Cのように黒が99%ではなく、花が、しかも美しい若さ一ぱいの花が60~70%を占める会場で共に語り合えた2日間を思うと、鶴岡のロータリーのメンバー全員をお連れしたい思いでした。

こんなことから、荒けずりの私にとって、自己開発の再教育の場であったことについてお礼を申し述べ、これからもローターアクトの発展はロータリーの発展でもあると思えますので、会長はじめ、全ロータリアンの力強いお力をお与え下されたくお願い致しまして、第7回ローターアクトの年次大会に参加させていただいた報告にかえさせていただきます。

ローターアクト会員 渡会 一雄 君

14日、15日と第7回ローターアクトクラブ大会に参加して参りました。今迄は社会奉仕、クラブ奉仕、国際奉仕、職業奉仕に別れて分科会をやってきましたが、今回は「遊び」・「方言」・「フィルム・フォーラム」の3つの分科会でした。私は「遊び」の分科会に出席しました。議題の中心になったのは昔と今の遊びについての討論でした。

昔の遊びと現代の子供達の遊びについてですが、昔は自然をうまく利用してその内から生れて来たものを生かして遊びを自分達が作り出した訳ですが、今の子供達は他人から与え、作られたものだけを対象にして、自分だけが遊ぶとか、仲間意識とか、外で遊ぶような遊びが少なくなったようです。我々青年層から見ても、遊びの本質とは何かと云う事になると難かしくて仲々結論が出せませんでした。

「遊びは心の日曜日である」、「人間は生れてから遊びなしでは育たない」、「遊びをどう過ごすかによって人生に貴重な役割をもっている」そんな意味で、もっと遊びと云う事を深く考えて見なければならぬと云う事でしめくくられました。今度の分科会は今迄とは違った感じで、クラブの内で話題になって来たようです。

来年度は米沢ですので距離的にも時間的にも参加し易くなりますので、多勢

参加して発言をし色々な知識を身につけて来ようと考えていますのでロータリアンの方からもご理解とご協力を願いたいと存じます。

ローターアクト会員 池田幸子さん

9月にローターアクトクラブに入会したばかりで今回の年次大会に参加して参りました。

分科会は「方言」に出席しました。遠く九州や茨木等からも多勢の方々が出席されましたが、初対面等の関係もあり自己紹介等も方言でやるように言われましたが恥かしかって大部分の人は標準語でやってしまいました。

方言はその地方や地域の情緒を表現するもので、これからも大切にしなければならぬ事は頭の中ではわかっている、テレビの影響や情報化された社会の内ではだんだん使われるまが少なくなって純粋の方言を使えるのはお年寄りだけ位になっているのではないのでしょうか。

方言で話すように云われても、いつも自分達は標準語で話している、方言で話をする事が出来ないと云う発言もあり、会場で、方言を使ってしゃべっても誰れも笑う人もいなく、盛り上がりのない分科会になり、テーマに「方言」を選んだ事に対してむしろ不満足な空気が感じられましたが、遠方から参加した人達と友達になり、色々と話が出来た事を心から感謝しています。

◎青少年活動週間について

青少年奉仕理事 菅原辰吉君

今日は青少年奉仕委員の事業として田川地区中・高校の英語弁論大会が開催されています。これも青少年活動週間の事業の一つです。

青少年活動週間に際してR.I会長よりのメッセージが届いています。

朋友ロータリアンの皆様

若い人達のために奉仕する活動を始動させ、刷新させ、その努力を更新する特別な週間として、青少年活動週間の実施をお願いいたします。

貴地域社会、ひいては全世界の青少年のため、「時間を捧げよう、奉仕のために」の計画に乗り出して下さい。

私達が今日の青少年への奉仕を怠るならば明日を担う彼等の成功如何に大きな影響を及ぼすことになるのです。

よろしくお願い申し上げます。

ロルフ・J・クラリッヒ

国際ロータリー会長

理事会は、インターアクト、ローターアクトおよび青少年交換を含むすべてのロータリー後援の青少年活動とくに焦点を合わせる期間として、毎ロータリー年度の9月（1980月は9月14日～20日の週間）に、青少年活動週間を催すことにしています。

※青少年活動週間を実施する方法に関する検討表

1. 若い人たちに職業に関する知識を授けることを目的とした「処世協議会」の開催を予定する。（参考資料：「青年のための職業情報」554-J）
2. 地元で、インターアクト・クラブを結成する計画に着手する。（参考資料：「インターアクトの提唱」6070-J）
3. 地元で、ローターアクト・クラブを結成する計画に着手する。（参考資料：「ローターアクトの提唱」6119-J）
4. 地元で、ロータリー青少年指導養成プログラムを実施する。（参考資料：「ロータリー青少年指導者養成セミナー運営法」694-J）
5. 地元で青少年交換を行なうことを強調する。（参考資料：「青少年交換」746-J；「ホスト・ファミリーの手引き」749-J；「交換学生のための指針」752-J）
6. 地元地域社会の優秀な若者を、青年功績賞を贈って、表彰する。（参考資料：「青年功績賞」6204-J）
7. 若い人たちのニーズをはっきりとつかむための調査を行なう。（参考資料：「あなたの若人を知れ」613A-J）
8. この週間に、若い人たちに、職業奉仕と自分の将来の目標ということに主眼をおいた事務所や店の見学をさせることを考える。
9. 若い人たちと意見を交換したり、お互いに共通のニーズを探究したりするため、また、世代間の交流を強めるための方法として、ロータリー・クラブの例会プログラムに若い人たちを参加させる。

以上の通りですが実行している事もありますし、今後共やれる事から順次実行に移して行きたいと思います。

SMILE BOX

笹原桂一君 — クラブ親睦ゴルフ大会に優勝。

高橋正太郎君 — 長男健一君が東北アマチュアゴルフの県代表に選ばれて。

出席報告

本出 日 の席	会員数	69名	欠 席 者	秋野君、飯白君、風間君、三浦君、皆川君、 諸橋君、中野君、斎藤(栄)君、斎藤(利)君、 笹原君、佐藤(順)君、玉城君
	出席数	57名		
	出席率	82.61%		
前出 回 の席	前回出席率	81.16%	メ ッ ク ブ	三浦君一温海R.C 藤川君、今野君、板垣 (広)君、本山君、中野君、玉城君、丹下君、 吉野君、秋野君一鶴岡西R.C
	修正出席数	66名		
	確定出席率	95.65%		